



紙面から

- お知らせ
日野市民ふれあい福祉まつり……………2
- お知らせ
食中毒の季節到来！0-157やサルモネラ菌などにご注意を……………3
- お知らせ
健康サポートルームの名称が決定「健康サポートルーム輝(かがやき)」……………3
- 催し
夏休みに出かけませんか？八ヶ岳高原大成荘・乗鞍高原日野山荘……………5

6月は浸水対策強化月間です

今月は、浸水対策強化月間です。近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる短時間の集中的な降雨が増加し、道路側溝や下水道などの雨水排水施設で処理しきれない場合が増えています。

雨期に向かうこの時期に浸水対策を行い、市内で開催する浸水に対する訓練などに参加し、いざというときのために備えておきましょう。

図防防災安全課

集中豪雨などによる浸水被害に備えるためには、雨の情報や状況を正確に把握することが大切です。

東京都ホームページ(<http://www.gesuinmetro.tokyo.jp>)で公開している「東京アメツシユ」は、東京の雨が一目で分かり、現時点から2時間前までの観測時雨量強度を5分刻みで表示します。

「東京アメツシユ」をご利用ください

日ごろから家の周りの安全を確かめ、危ない石積みや土留めは補強し、雨水の排水を

東京都多摩建築指導事務所(☎042・548・2037)、市防

長雨や集中豪雨で地盤が緩み、崖や擁壁などの崩壊が起こりやすい季節になりました。特に切り立った崖や、排水施設のない擁壁で覆われている家では、大きな被害を受けるばかりでなく、隣接する方々の生命・財産にまで危険を及ぼしかねません。

市内でも、平成20年8月に発生した集中豪雨によって土砂崩れが発生し、自宅から一時避難をした家庭がありました。

よくするなどして、安全対策を心掛けましょう。すでに、東京都などの関係機関から安全対策などの措置を取るよう勧告を受けている方は、必ず、補強・改良などの工事を行ってください。

なお、法律(宅地造成等規制法)で定める区域内で、一定の高さ以上を切り土・盛り土する時や、擁壁などを築造する時は、事前の許可が必要となりますので、ご注意ください。



家のまわりを再点検し、土砂災害へ備えましょう

「もしドラ」の原作者 岩崎夏海氏 日野市凱旋講演

「もしドラ」誕生秘話～ドラッカーとAKB48

日時 7月3日(日)午後2時～3時30分
会場 ひの煉瓦ホール(市民会館)

日野映像支援隊は設立10周年を迎えた記念として、現在、アニメ化などで注目される「もしドラ」の原作者・岩崎夏海氏の講演を企画します。

講演第1部では「もしドラ」誕生秘話を、第2部ではマネジメントの神髄を語っていただきます。その後、講演を聞いた高校生、大学生を対象に日野市のまちづくりをマネジメントするアイデアコンテストへの作文を募集します。応募方法など、詳細は当日会場で発表します。

後援…日野市、日野市教育委員会、協賛…日野市商工会など、協力…日野市「もしドラ」PT(プロジェクトチーム)

チケット購入方法

前売り券…2,000円※高校生以下1,000円
当日券…2,500円※高校生以下1,500円

ひの煉瓦ホール、日野市観光協会などの窓口または日野映像支援隊ホームページ(<http://hino-filmcom.web.infoseek.co.jp/>)からNPO法人日野映像支援隊(☎593-5315)



「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」岩崎夏海 著
ダイヤモンド社 刊



▲応急救護訓練



平成23年度洪水ハザードマップに

基づく地域別宿泊訓練

洪水時には、浸水により避難場所や避難ルートが限られるため、普段から確認しておく必要があります。現在配布している「洪水ハザードマップ」に基づき、地域別宿泊訓練を実施します。

6月18日(土)午後5時～9時(宿泊する方は翌日午前8時まで)場四小避難参集訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練、越水防止工法訓練、宿泊訓練と四小学区にお住まいの方図防防災安全課

節電の効用

日野市長 馬場 弘 社

東日本大震災では大きな影響が続いています。それにしても私たちは、以前のような生活に戻るべきなのではないでしょうか。

気候が良くなり、計画停電は必要なくなりましたが、浜岡原子力発電所まで止められました。この夏は電力消費のピークを乗り切れるか心配です。全電力の約30%が家庭の消費ですから、さらなる節電が求められるわけです。

経済の仕組みや仕事のありようはもとより、行政運営から家庭生活まで、一人ひとりが本気で考え直さなければなりません。

ここ数年、日野市では「ふだん着でCO₂をへらそう」事業を続けてきました。多くのご家庭では、エコ生活や節電に工夫して取り組まれています。もう少し努力が必要ですが、すでに、電車や劇場などの照明が抑えられました。自動車会社では木曜・金曜日に休み、土曜・日曜日に働く仕組みを考えています。デパートでは定休日を復活させるとか。市役所でも一斉退庁や一斉消灯を試行しました。働く方々のご苦労は大変だと思えます。でも慣れてしまえば、それほど不便に感じないのも事実。

この際、逆転の発想、プラス思考による節電をすすめてい。いやいや対応するより、節電の効用を考えてみましょう。

私たちの生活は明る過ぎた。エネルギーを浪費し過ぎた。住まいの照明を節約すれば、家族団欒が深まるかもしれない。自然のリズムに合った健康的な日常を取り戻せるかもしれません。

工夫と考え次第で、節電にも効用ありと思うのですが。

ふだん着でCO₂をへらそう～宣言世帯24,772世帯、2,175事業所(5月15日現在)